

令和5年4月14日
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

令和5年度 鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要について

鹿島港湾・空港整備事務所では、鹿島港及び茨城港常陸那珂港区を整備するため、令和5年度においては、別添の事業を実施します。

1. 鹿島港については、近年の貨物船の大型化等に対応するとともに大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナルを整備しており、令和5年度は、防波堤(南)の基礎工とケーソン据付工及び防波堤(中央)のブロック据付工等を実施する予定です。
また、洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設を可能とし、洋上風力発電の導入促進を図るため、重厚長大な洋上風力発電設備の荷役が効率的で安全に実施できる岸壁(基地港湾)の整備と地耐力強化に着手しており、令和5年度は、岸壁(水深12m)の地盤改良工、浚渫及び上部工等を実施する予定です。
2. 茨城港常陸那珂港区については、北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まった海上輸送需要の増大に対応するため、国際海上コンテナターミナル及び国際物流ターミナルを整備しており、令和5年度は、防波堤(東)のケーソン製作工、据付工及び中央ふ頭地区岸壁(水深12m)のケーソン製作工を実施する予定です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、茨城県政記者クラブ、物流専門紙

<問い合わせ先>

所属 国土交通省 関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

氏名 副所長 櫻田 武光 (さくらだ たけみつ)

第一工務課長 鈴木 友二 (すずき ゆうじ)

電話：0299-84-7712 メールアドレス：info-k83ab@mlit.go.jp

鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業

R5年度事業費：24.5億円

【茨城県】直轄

事業の概要

鹿島港は国内有数の鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の輸送基地として発展し、東関東内陸部の玄関口としての重要な物流機能を担っています。近年の貨物船の大型化に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナルを整備しています。

また、洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設を可能とし、洋上風力発電の導入促進を図るため、重厚長大な洋上風力発電設備の荷役が効率的で安全に実施できる岸壁(基地港湾)の整備として、地耐力強化や航路・浚渫等の港湾施設の整備を行います。

令和5年度予定

- 防波堤(南)の基礎工、ケーソン据付工等を実施する予定です。
- 防波堤(中央)のブロック据付工等を実施する予定です。
- 岸壁(水深12m)の地盤改良工、浚渫工及び上部工等を実施する予定です。

事業の効果

- 防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
 - ターミナルの整備により大型船によって一度に大量の貨物輸送が可能となり、海上輸送コストの削減が可能となります。
 - 岸壁(水深14m)の耐震化により、大規模地震発生後も緊急物資等の輸送拠点として機能します。
 - 岸壁(水深12m)を整備することで、鹿島港外港地区における洋上風力発電関連貨物の取扱いが可能となり、海上輸送コストが削減されます。
 - 地耐力強化によりプレアッセンブリ(仮組立て)が可能となることで、SEP船(自動昇降式作業台船)への部材積込量が増加し、基地港湾～海上建設サイトの運航サイクル数が減少することで、海上輸送コストが削減されます。
- また、洋上風車設置箇所での風力発電設備荷役作業が効率化され、荷役コストが削減されます。



茨城港常陸那珂港区外港地区国際海上コンテナターミナル等整備事業

R5年度事業費:6.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

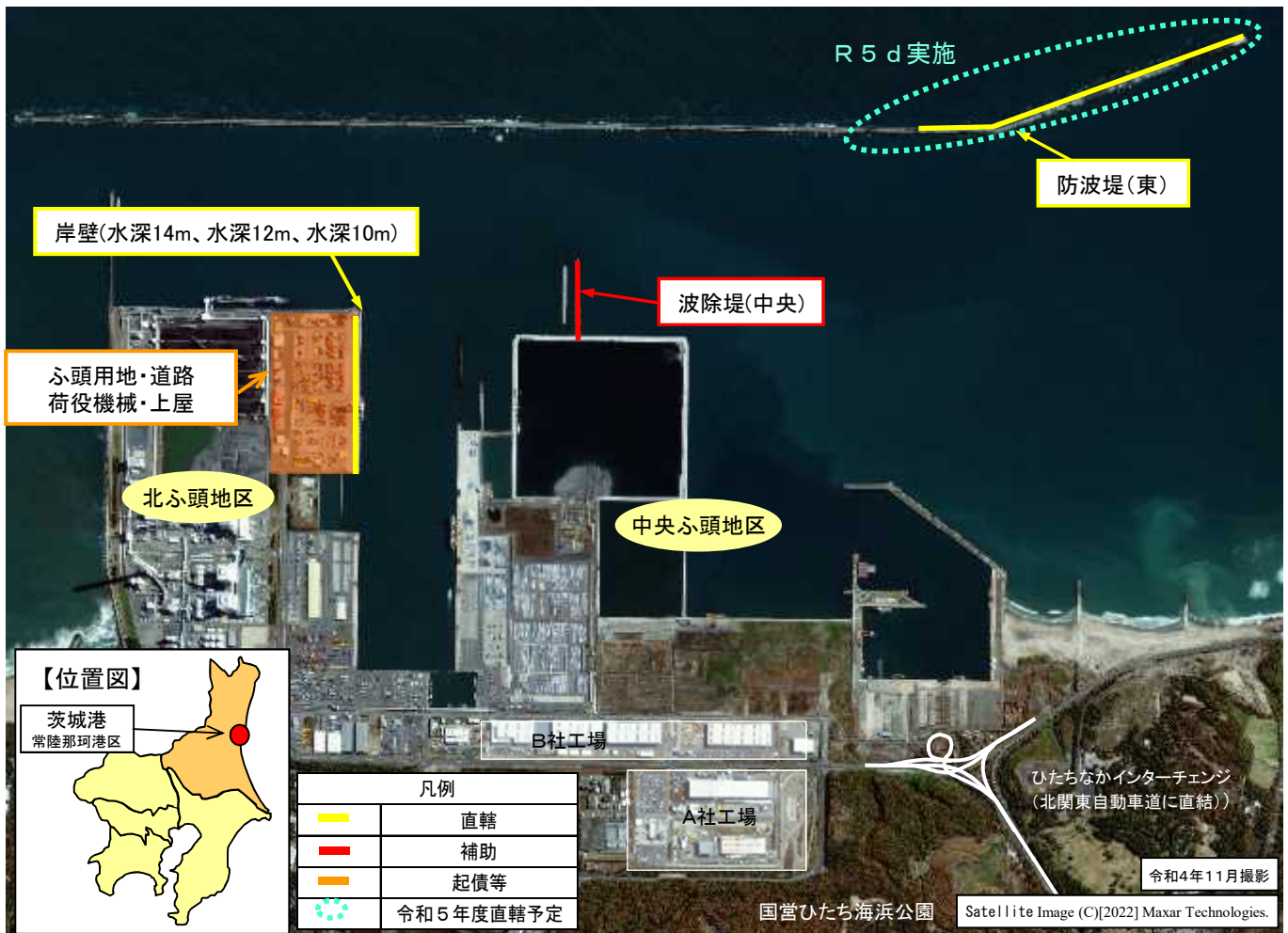
茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。コンテナ貨物量等の増加に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際海上コンテナターミナル等を整備しています。

令和5年度予定

○防波堤(東)の補修工、ケーソン製作工、据付工等を実施する予定です。

事業の効果

- 防波堤の延伸を行うことにより港内の静穏が保たれ、岸壁での荷役作業効率が向上します。
- 茨城港常陸那珂港区におけるコンテナ等取扱能力の向上が図られます。
- 北関東地域の企業が茨城港常陸那珂港区を利用することで、効率的な海上輸送が可能となります。



いばらきこう ひたち なか こう くこくさいぶつりゅう せいび じぎょう
茨城港常陸那珂港区国際物流ターミナル整備事業

R5年度事業費:5.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港(常陸那珂港区)は北関東地域の玄関口として経済・交流活動を支える重要な港湾であり、北関東自動車道の開通も相まって海上輸送の需要が増大しています。北関東地域に立地する自動車メーカーの完成自動車の増産に対応し、円滑な物流を確保するため、新たな国際物流ターミナル(水深12m)を整備しています。

令和5年度予定

○岸壁(水深12m)のケーソン製作工を実施する予定です。

事業の効果

- 完成自動車取扱台数の増加と自動車運搬船の大型化に適切に対応することにより、北関東地域からの完成自動車の海上輸送コストの削減等が可能となります。
- 完成自動車や部品等含めた広範な関連産業における国内生産機能の維持・拡大に寄与します。

